

『ザ・タイムズ』『ニューヨークタイムズ』をはじめ世界中のメディアが絶賛

## さまよう子宮

### ジェンダーバイアスによる医学と神話の大罪



ギリシャ時代から続くジェンダーバイアスが「女性であるというリスク」をいかにすり込み、不適切な治療で女性にみじめでつらい思いをさせ、時には死へと追いやってきたか——著者は膨大な資料をもとに、ギリシャ時代から現代まで、医学と神話がいかに女性たちを不当に扱ってきたかを500ページにわたって時に冷静に、時に情熱的につまびらかにしていく。

●生物学者・作家 福岡伸一さん推薦！

『弱い性、それは実は男性なのだ。それゆえにこそ男性は、女性を抑圧し、女性を差別し、女性に大して優位を保とうとしてきた。その醜悪さは本書が如実に描き出したとおりである』

著者：エリナー・クレグホーン

フェミニストの文化史学者、作家。サセックス州在住。2012年に博士号を取得したのち、オックスフォード大学のラスキン絵画学校で3年間博士研究員として働きながら、学際的なメディカル・ヒューマニティ・プロジェクトに従事。彼女自身が痛みやその他の症状に苦しめられ、最終的に全身性エリテマトーデスと診断されるまでに7年を要した。

条件：委託(常時返品可)

番線印	希望配本数	<p><b>さまよう子宮</b> ジェンダーバイアスによる医学と神話の大罪</p> <p>定価：3900円+税 四六判 並製 552P ISBN：978-4-910428-45-1 エリナー・クレグホーン 著 福井久美子 訳 発行・発売：(株)G.B</p>
	ご担当者名	

指定締め切り6月13日  
FAX送付先

# 03-3221-8814

問い合わせ先TEL：03-3221-8013

(株)G.B <https://www.gbnet.co.jp>